

令和2年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立長居ユースホステル
施設所管課・担当	こども青少年局企画部青少年課（青少年企画）
条例上の設置目的	青少年に対し、旅行を通じて自律ある生活を行わせることにより、健全な青少年の育成を図ることを目的とする。
業務の概要	(1) 施設を青少年の宿泊及び集会の用に供すること (2) 本市の歴史、文化、産業等の紹介を行うこと (3) その他市長が必要と認める事業
成果指標	年間宿泊者数／施設稼働率
数値目標	13,200人／44.43%
指定管理者名	一般財団法人 大阪市青少年活動協会
指定期間	平成31年4月1日～令和3年3月31日
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	年間宿泊者数	施設稼働率
数値目標	13,200人	44.43%
年度実績	650人	3.30%
達成率	4.9%	7.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
年間宿泊者数	650人	9,465人	6.9%
施設稼働率	3.3%	33.1%	10.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異 (当年度実績－当年度計画)	主な要因
業務代行料	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
利用料金収入	実績	3,151,005	38,148,944	-45,886,645	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の臨時休館や施設利用人数の制限等による施設利用者数の減
	計画	49,037,650	47,586,670		
その他収入	実績	22,972,061	8,303,280	13,118,098	・利用料金収入に同じ (なお、当年度実績には、大阪市からの補填額20,492,397円を含む。)
	計画	9,853,963	9,262,779		
自主事業収入	実績	516,248	3,097,785	-3,458,011	・利用料金収入に同じ
	計画	3,974,259	3,768,574		
合計	実績	26,639,314	49,550,009	-36,226,558	
	計画	62,865,872	60,618,023		

支出		当年度	前年度	差異 (当年度実績－当年度計画)	主な要因
人件費	実績	14,541,836	24,437,903	-10,569,364	・施設の利用状況や利用実態に合わせた人員配置の見直しや職員のマルチスタッフ化による人件費の減
	計画	25,111,200	25,111,200		
物件費	実績	11,061,895	20,916,414	-14,998,867	・施設利用人数の減に伴う光熱水費、洗濯費の減等
	計画	26,060,762	24,862,343		
その他事業費	実績	788,382	7,305,836	-8,042,785	・施設利用人数の減に伴う給食提供の減等
	計画	8,831,167	8,303,781		
自主事業支出	実績	322,701	1,341,994	-2,183,303	・施設利用人数の減によるアメニティ提供の減等
	計画	2,506,004	2,313,667		
合計	実績	26,714,814	54,002,147	-35,794,319	
	計画	62,509,133	60,590,991		

令和2年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
年間宿泊者数	4.9%	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、評価を「—」とした。
施設稼働率	7.4%	—	同上

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
【人件費】 ・利用状況や利用実態に即した効率的な人員配置やマルチスタッフ化を実施するとともに、雇用調整助成金を活用するなど、経費の抑制に努めた。 【物件費】 ・設備機器の保守、維持管理業務について、総合ビルメンテナンス会社が一括管理することにより効率化を図るとともに、小修繕や日常清掃、定期清掃の一部を職員等で実施し、コスト削減に努めた。	B	・本市からの業務代行料はなし。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

【利用者アンケート】 ・スタッフ対応：満足 87.5%、普通 12.5% ・施設利用：満足 87.5%、普通 12.5% ・食事：満足 71%、普通 29% ・その他、感想・意見 「予定の変更柔軟に対応していただいた」、「コロナ対策が十分講じられていたので、安心して利用できた」など、肯定的な意見が多かった。
--

6 外部専門家意見

・新型コロナウイルスの影響により、成果指標（宿泊者数や稼働率）が未達成となっているのはやむを得ない。 ・新型コロナウイルス感染防止対策については実施している。 ・（新たな指定管理者による）長居公園内の各種施設の一体的管理の利点を活かしてイベントを実施するなど、施設の利用促進やサービス向上の観点から創意工夫されることを期待する。 ・学校や団体に対する利用促進活動についても強化されたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	—	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設利用人数の大幅な減少があったため、適切な評価ができないと判断した。
市費の縮減	B	・清潔かつ安全な宿泊施設を低廉な価格で利用できるよう、常にコスト意識を持ち、管理経費の縮減に努めていた。 （なお、本施設は、独立採算制で運営されており、本市からの業務代行料はなく、直接的な市費の節減は生じないが、本市への利益配分額に影響するため、評価をしている。）
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・宿泊施設の利用者が昨年度比で大幅に減少するなか、施設の利用促進に向けて、大手旅行会社や大阪観光局に積極的な営業活動を行ったり、GoToトラベル事業の宿泊施設登録をするなど、新たな需要の掘起しに努めていた。
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		・また、集会室等の利用促進リーフレットを近隣公共施設にも配付するなどの取組みも積極的に行っていた。
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	